

## 平成 23 年度（4～8 月）ごみと資源の総量の状況について

燃やすごみや埋立などのごみ量に、古紙や缶・びんなどの資源の量も加えた今年度の「ごみと資源の総量」の削減目標は、平成 21 年度（基準年度）に比べ 1.5%以上削減としています。

平成 23 年 4～8 月のごみと資源の総量は 539,920 トンで、平成 21 年度と比べ、9,693 トン（1.8%）減少しています。

内訳として、家庭系の総量は 394,090 トンで、同じく 8,425 トン（2.1%）減少し、事業系の総量は 145,840 トンで、同じく 1,258 トン（0.9%）減少しています。

平成 23 年度（4～8 月） ごみと資源の総量（速報値） 【単位：トン】

	ごみと資源の総量						
		家庭系			事業系		
		ごみ量	資源化量※ <sup>1</sup>		ごみ量	資源化量※ <sup>2</sup>	
23 年度	539,920	394,090	263,350	130,740	145,840	132,170	13,670
21 年度 差	▲9,693 (▲1.8%)	▲8,425 (▲2.1%)	▲3,691 (▲1.4%)	▲4,734 (▲3.5%)	▲1,258 (▲0.9%)	▲5,576 (▲4.0%)	4,318 (46.2%)
21 年度 (基準年度)	549,613	402,515	267,041	135,474	147,098	137,746	9,352

- ・平成 23 年度速報値は、10 トン未満を四捨五入しています。
- ・（ ）中の数値は、21 年度との比を示しています。

### 【項目の説明】

- ※1 家庭系の資源化量は、行政が回収した資源化量と、資源集団回収の量の合計です。
- ※2 事業系の資源化量は、学校給食の残さの資源化、および許可を受けた事業者が生ごみや剪定枝を資源化した量です。